



サイジャーナル

月刊
4-1-2
第461号

日本サイ科学会 令和4年1月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 <small>〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号</small> 佐佐木 康 二 <small>☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097</small>	中 部 <small>〒455-0053 名古屋市港区 名四町113</small> 眞 野 博 英 <small>☎ 090-9196-2963</small>	北 陸 <small>〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号</small> 佐 藤 禎 花 <small>☎ 076 (234) 2034</small>	関 西 <small>〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2</small> 和 田 高 幸 <small>☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061</small>	九 州 <small>〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F</small> 伽 羅 <small>☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200</small>
--	--	--	---	---

年頭のご挨拶

新しい年を迎えるにあたり、日本サイ科学会の発展と皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



この度のコロナ騒ぎで、世界の事件が意外に密に自分に関連することを実感しました。この繋がりにおいて、少し前にある種の驚きをもって確かめた事柄を思い出しました。

それは、ずいぶん昔に本でちらっと見た英国の大変有名な学者（ジーンズと記憶しているが確かでない）が設定した質問でした。その内容もうっすらとした印象しか残っていませんが、これを頼りに次のような質問を創り出しました。

会長 浪平 博人

一口分の水を掬いそのすべてに印をつける。それらを海に流し十分かき混ぜてその後一口分を海から掬い取る。元の水の分子は何個ぐらい含まれているか。（思考実験）

充分にかき混ぜるとは、印のついた分子が海中にむらなく拡散することです。分子の数は非常に多い。水の場合、 H_2O の分子量は $1 \times 2 + 16 = 18$ ですから一口を18グラムとすると、その水の分子の数は 6×10^{23} （アボガドロ数）です。この刻印した粒子の数が、全地球の水の量のどれくらいに比になるかを概算してみました。

地球を球とし表面は全て海で深さは1キロとして、水量を CB を単位として計算すると、約 $10^{23} cm^3$ となります。すなわち1cc当たり印のついた水は $(5 \times 10^{23}) / (5 \times 10^{23}) = 1$ となります。海水から18グラムの水を掬えば、その中には約20個の印の

今月号の記事

- ◎年頭のご挨拶
- ◎二月本部例会のお知らせ
- ◎関西日本サイ科学会1月、2月研究集会のお知らせ
- ◎竹本良氏出演映画『虚空門 GATE』国際映画賞7冠達成！
- ◎第6回占星学と運命創造学の研究分科会のお知らせ
- ◎第45回宇宙生命研究分科会予告
- ◎第12回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎令和2年2月本部例会の報告Ⅱ
- ◎第四六二回関西サイ科学会報告
- ◎印度旅行のみやげ話（サイの広場第1号アカイブ）
- ◎意識・物質の実用研究会について

ついた水の分子があることになりました。

その昔インドでお釈迦様が小川の辺でお飲みになった水が、2500年の時を経て世界中に拡散したとします。今私がコップで飲んでいる18ccの水にその一粒が含まれる可能性はほとんど確実です。皆様におかれましては、水を飲むたびに偉大な存在とのご

縁を思い起こし、今年もおだやかにお過ごしください。

二月本部例会のお知らせ

新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会

日時 令和4年2月6日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階902会議室
J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 一〇〇〇円

毎年恒例となっている一人の講師の講演ではなく、参加者の皆様からのUFO、超常現象、心靈現象、オーブ等サイ現象に関する目撃・体験や意見の発表、それらをテーマにした意見交換・討論等、気楽な感じで懇談会を開催致します。

皆様の中で、ご自分で撮った不

思議な写真、ビデオ映像等をお持ちの方や、UFO、超常現象、心靈現象、オーブ等サイ現象で発表したいことがありますたら、是非事務局にメールでご連絡願います。
office21@psj.mail-box.ne.jp

またスプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。

※1月の本部例会はお休みとなります。

関西日本サイ科学会 一月研究集会のお知らせ

デジタル化で変容する近未来変貌する世の中。備えは万全か

講師 水口 清一氏
竹田 稔幸氏

日時 令和4年1月15日(土)

13:30～17:00(13:00開場)

会場・阿倍王子神社 参集殿(2F)

・阪堺電車上町線「東天下茶屋」
駅下車徒歩5分

・大阪メトロ御堂筋線「昭和町」
駅から徒歩15分

・まつむし音楽堂から阿倍野筋沿いに徒歩10分

会費 会員及び同伴の家族二千円
一般三千円 学生一千円

講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名
※懇親会への参加は、当日受付にてお申し出ください。

※参加のお申込みは、関西日本サイ科学会公式サイト「参加予約」フォームからお願い致します。
<http://adies.jp/kps/ken.html#ken463>

講演内容

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、テレワークや事務の電

子化などデジタル化が進んでいきます。

2018年、経済産業省は「デジタルトランスフォーメーション」(以下DX)についてのガイドラインを策定しました。当時はだれも「DX」というものに興味がなく、一部のデジタルオタクが騒いだに過ぎませんでした。それから約一年後、新型コロナウイルスのパンデミックにより、人々は奇しくもリモートワークやZOOMを余儀なくされる状況になりました。

これで日本もDXの時代に本格的に突入するかと思われましたが、2020年12月の調査では、DXへの取り組み企業は全体で1割未満と結論づけられています。

リモートワークやZOOMなどが普及したにも関わらず、なぜDXの普及率が9割以下なのでしょう？ その理由は、人々がDX時代に適応した意識変化を起していないからだといえるでしょう。

IT(情報技術)は、リアルに存在するビジネスやサービスを、より便利にするために進化してきました。つまり発想の原点が「リ

「アル」にあるということ。これに対してDXとは、発想の原点が「バーチャル」にあるのです。

署名捺印一つとってもそうですね。せっかくりモートワークを始めても、上司の署名捺印のために出社すると言う馬鹿げた事態が起こっていましたね。DXを実践しているのであれば、デジタル署名、デジタル捺印が当たり前になっていくでしょうが、現実はそうではありません。追いついていないのです。

東洋には古くから、「色即是空、空即是色」と言う考え方があります。これは、リアルがバーチャルへ、バーチャルがリアルへと、変幻自在に移動する様を意味しています。

この変幻自在こそが「トランスフォーメーション」(DX)なのです。人々が、本当の意味でDXを理解したとき、この世は、「色即是空、空即是色」となっており、大きな意識の変化を呼び起こします。

ITはビジネスやサービスの世界ではなく、意識や感情の世界へと広がり進化し続けていますが、

原点はリアルの世界ではなく、バーチャルの世界へと移り変わっていきます。

しかし、この変化は表面からでは見て取ることはできません。まさに「色即是空、空即是色」なのです。

2022年は、本来の意味でのDXが、大波でやってきます。気づかぬ人は、知らぬ間に取り残されてしまいます。

わたしたちは、DXによる意識の変化に目を向け、この大波に備える必要があるのです。

講師のプロフィール

水口清一氏(みずぐち きよかず)

1960年代より人間の無限の可能性を引き出すため、右脳開発や速読などの加速学習法、夢の実現法、超能力やシンクロを起こす方法などの潜在能力開発、未来予知法、「意識場」による次世代の会社経営・管理法など、先駆的なセミナーやプログラムを開発してきた。大学時代は探検部に所属、全国山々を探索。熊野で言霊と禪の行を修め、東洋の神秘に触れる。東洋思想にもとづく独自の視点に

もとづく未来予知には定評があり、テレビ、新聞、週刊誌、ラジオなどマスコミでも取り上げられた。「夢のプラットホーム」を主宰。AIマンダラ研究所・所長。潜在能力の開発、催眠法、イメージコントロール、超意識、言葉、数霊、場のマネジメント、創造性開発、瞑想、東洋思想、コミュニケーションづくり、未来予知、夢の実現法などを専門分野として先駆的なプログラムを開発。セミナーや企業研修など幅広く活動している。著書に「潜在意識の大活用」、「バーチャル社会と意識進化」、「未来予知能力の開発」、「人はみんな魔法使い」、「人生は魔法の世界だ」、「90日で願いが叶う魔法の本」、「これから日本の時代になる理由(わけ)」など多数。

竹田稔幸氏(たけだ としゆき)

1995年工業大学機械学科に在籍中、初めて触れたインターネットの可能性に衝撃を受け、隣接の情報学科に入り浸りIT技術の習得を試みる。1999年、インターネットビジネスを学ぶために他大学の経営学部へ編入、パソコン売り場でアルバイトをしながら

パソコンの「何でも屋」を起業、携帯電話から無線ネットワーク、スマートフォン家電など、利便性の高い家庭やオフィスの環境構築はじめ初心者向けサポート、経営者へのITに関するコンサルティング業を開始した。さまざまな現場経験を元に、誰でもインターネットを使ったビジネスで収益を上げるメソッドを確立、ITに関する幅広い知識を武器に、ITを利用したマーケティング戦略や商品開発などを手がけている。



関西日本サイ科学会
二月研究集会のお知らせ

歌声の効用

健康につながる声の力

講師 河邊 敦子

(関西歌劇団理事)

森本 まどか氏

(関西歌劇団正団員、音声訓練士)

田中 実子氏

(ピアニスト)

日時 令和4年2月19日(土)

14:00開演(13:30開場)

会場 まつむし音楽堂2F

交通 御堂筋線「天王寺」、近鉄南

大阪線「阿部野橋」で 阪堺

電車上町線に乗換え「松虫」

下車すぐ。

会費 会員及び同伴の家族二千元

一般三千元 学生一千元

講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名

※懇親会への参加は、当日受付にてお申し出ください。

※参加のお申込みは、関西日本サ

イ科学会公式サイト「参加予

約」フォームからお願ひ致します。

<http://ades.jp/kps/ken.html#ken463>

講演内容

健康といえば、世間には○○教室や○○食品など多彩な商品が溢

れています。今回の研究集会は、だれにもある身体の一部で基

本的なコミュニケーション作業を

受け持つ「声」に着目しました。

講師は関西歌劇団の現役ソプラノ

歌手で、素晴らしい歌声も堪能で

さるかと存じます。

神代の時代からある「和歌」や

「祝詞(のりと)」、さらに「声明

(しようみょう)」や「民謡」、「歌

劇」や「歌謡曲」に至るまで、「歌

声」は人々の生活と密着、文字が

ない時代からさまざまな交信、交

流の主役を担ってきました。身近

すぎて、今更「声の効用」などと

おっしゃるかもしれないけれど、

「声」が全身に及ぼすはたらきを

知ることにはけっして無駄ではあり

ません。意識して「声」を使うこ

とで保健業は少なくて済むはずで

す。ぜひご参加ください。

(演奏曲目)

「アヴェ・マリア」(ルッツィ作曲)

「赤いかんざし」(貴志康一作詞・

作曲)、「かごかき」(同)

「O mio babilino caro (わたしのお

父さん)」「ブッチーニ作曲)ほか

講師のプロフィール

河邊 敦子氏 Kawabe Atsuko

ソプラノ歌手。大阪音楽大学音

楽学部声楽科声楽専攻修了。「フ

イガロの結婚」ケルビーノ役を皮切

りに「椿姫」「カルメン」「赤い陣羽

織」「源氏物語」など多数のオペラ

に出演。「ルサルカ」「修道女アン

ジェリカ」ではタイトルロールを演

じ、大阪文化祭奨励賞(平成22年)

を受賞した「フィガロの結婚」では

伯爵夫人役を好演。オペラ以外の

コンサートにも出演多数。声楽を

栢本淑子氏に師事。金蘭千里中・

高等学校特任講師。関西歌劇団理

事。関西歌曲研究会、日本演奏連

盟各会員。

森本 まどか氏 Morimoto Madoka

ソプラノ歌手。音声訓練士。大

阪音楽大学音楽学部声楽学科卒

業。朝日推薦演奏会をはじめ、イ

タリアのベスカウラ、フィレンツ

エ、オランダのコンセルトヘボウほ

か国内外の演奏会に多数出演。「こ

うもり」アデーレ役でデビュー、そ

の後「メリー・ウイドウ」ハンナ、

「カルメン」ミカエラ、「マリツァ伯

爵夫人」マリツァ、「ほほえみの国」

リーザ、「ウィーン気質」ガブリエ

ル役で出演。第28回香川音楽コン

クールでは声楽部門第3位、日本

歌曲部門第2位。「日本歌曲全集

第9集」ヴォーカルアンサンブル

(ノスタルジア)ファーストアルバム

ム(心やすらぐ時を求めて)など

CDリリース。関西歌劇団正団員。

関西歌曲研究会、日本演奏連盟各

映画「虚空門GATE」国際映画賞

七冠達成!

小路谷秀樹監督作品で、竹本良

脇役で出演の映画「虚空門GATE」

が国際的に評価されています。

ここ3ヶ月で以下の7つの国際

映画賞を受賞。まだまだ幾つか公

式選出された映画賞があります。あと

2〜3は可能性があります。ま

ずは報告まで。

・多次元インディペンデント映画

祭(無国籍)最優秀口伝ドキュメ

ンタリー部門賞

・ドリームズキャッチャー国際映

画祭(インド)最優秀ドキュメン

タリー部門第3季(9月〜10月)

最優秀賞

・ベストイスタンブル映画祭(ト

ルコ)特別銀賞最優秀長編ドキ

ュメンタリー

・ロズウェルギャラクテイコン

SF映画祭(米国)ベストドキュ

メンタリー賞

・オープンウィンドウ国際映画チ

ャレンジ(インド)ベストドキュ

メンタリー賞

・ヴェガス映画賞最優秀インディ

ーズ☆メリット賞

最優秀監督☆メリット賞

第6回 占星学と運命創造 学の研究分科会

日時 令和4年1月30日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル
会費 会員 一千元(当日入会可)
一般二千元 学生 一千元

※定員がありますので後述の★欄
をご覧ください、ご参加予約願
います。

※当日会場にて直接、現金にて参
加費をお支払い下さい。

テーマ

2022年度春分図による
未来予測と個人の運勢診断

講師 瀬尾 泰範氏

西洋占星学では、年度にあたる

1年間(春分の日から翌年の春分の日まで)のその国の運勢を占うとき、太陽がちょうど春分点(牡羊座0度)にきたときのその国の首都におけるホロスコープチャート(春分図)を描いて診断致します。アストロハーモニックでは、周波数1〜9までの「ハーモニック・チャート」も使って、より詳細な診断をしております。

これまでも2020年度の春分図の診断はその年の1月の分科会で解説し、2021年度の春分図の診断は分科会がコロナ禍で延期されたので、アストロハーモニックのメルマガで解説致しました。

2020年度は「アストロハーモニックチャートβ」におけるハードな周波数4と周波数8のチャートがパワーがかなり高くなり、土地に拘わらず世界的な問題が起ることが読めました。

また2021年度は、1月12日発行の「新アストロハーモニック通信 Vol.4」で

『以上から、コロナ禍の今後を判断しますと、(ハーモニック・チャートでは)全体的にグラウンドラインが多く形成され、周波数

3、6のパワーが高いのと、ハードな方の周波数8で上記の海王星の絡む2つの調和三角形が形成されるので、ワクチンの接種等で、新年度後半までにはかなり収束されると予測されます。』と配信致しました。

<https://astro-h.com/2021/01/11/2021-venal-equinox-harmonic-chart/>

今回も2022年3月20日0時34分の春分図について、「ホロスコープチャート」と「アストロハーモニックチャートβ」を使って、主に2022年度の日本の診断をご紹介します。

また西洋占星学のハーモニクス理論に基づく当会独自の「アストロハーモニックチャートS」(月運チャート)を使って、参加者の運勢診断を致します。

参加者個人別に今後18ヶ月の月運チャートを配布して見方を説明し、自由に質問を受けながら、個人の運勢診断を分かりやすく解説致します。

さらに水星、金星、火星、木星、土星の2022年1月～2023

年6月にかけて、それぞれの星が通過する星座運行による、比較的短周期の環境運の見方と対処法も解説致します。

参加ご希望の方は以下★の2つの場合を見て、お申込み願います。

◎瀬尾泰範氏のプロフィール

静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJogan M. Adey氏が提唱したハーモニクス理論を発展させて、独自の「アストロハーモニックチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイポテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力の養成も指導している。

「才能開発研究所」、「アストロハーモニック」を主宰、日本サイロ科学会理事。

★既に分科会に参加されて、当会のホロスコープ(出生天宮図)をお持ちの皆様へ

分科会では参加者ご本人(ある

いほご子息等)の月運診断チャート18ヶ月分を当日配布し、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和4年1月23日(日)までに「1月30日分科会参加希望」と書いて

office21@psij.mail-box.ne.jp宛てにメール送信いただくか、

FAX 047・330・4091
にFAX願います。

★初めてご参加の皆様

参加者ご本人(あるいはご子息等)のホロスコープ(出生図)と月運診断チャート18ヶ月分を当日配布して、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和4年1月23日(日)までに「1月30日分科会参加希望」+以下の出生データを書いて

office21@psij.mail-box.ne.jp宛てにメール送信いただくか、
FAX 047・330・4091
にFAX願います。

☆出生データ☆

◎氏名

◎氏名の読み方

◎メールアドレス

◎電話番号

◎西暦での生年月日

◎出生時刻(午前・午後○時○分まで分かれば、より診断が正確になりますが、分からない場合は不明と記してください)

◎出生地(都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かればベストです↓こちらで緯度と経度を出します。)

※2020年12月21日に創刊されました占星学のメールマガジン「アストロハーモニック通信」は毎週月曜日に配信しております。

内容は

- ・運命創造学に基づく指針
- ・アストロハーモニックチャートによる翌週の社会全体運診断(占星学的六曜)
- ・瀬尾泰範のブログ

・西洋占星学、ハーモニクス理論の基礎からのレッスン

等です。分科会参加者にはすべて配信しておりますが、今回分科会に参加できない方も配信希望を歓迎致します。

office21@psij.mail-box.ne.jp宛てに「占星学のメールマガジン希望」と書いて送信願います。

第45回宇宙生命研究分科会

日時 令和4年3月26日(土)

午前10時～午後4時30分

会場 北とぴあ9階901会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽

寄り)の階段を下り改札口を出

て見える高層ビル

参加費 一般二千元

サイ・サトル会員、学生、60歳

以上一千元

宇宙人0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて

参加費をお支払い下さい。

第4回ソクラテスシンポジウム

テーマ「アイデンティティ」

サイボット社会(サイボーグ、

ロボットとヒトの共生社会)に加

えて、替玉、ゴム人間、クローン

が蔓延する中で、自分が自分らし

く自分の連続性を保つにはどうし

たらいいのか? 取り敢えず考え

てみよう。

あなたはホントにあなたなの

か? あなたに似せたゴムニダではないのか? いや、レプクロじやあ、ないのか? 自分ってホントのわたしですか?

(世話役 阿久津淳)

第12回スピリチュアル研究分科会

日時 令和4年5月29日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とぴあ9階902号室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽

寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員一千元(当日入会可)

一般二千元 学生一千元

*当日会場にて直接、現金にてお

支払い下さい。

テーマ「特異能力の検証と開発法」

講師 小林 永周氏

講演内容

古今東西、預言者や超能力者、

シャーマン等、いわゆる霊視、霊聴、霊言や予知、予言などを行う特異能力者はピンからキリまで存在しています。

かつて私はテレビ局の制作現場に携わって、内外の能力者330余名を取材、各人の能力を確かめ、実験、検証を試みて60年余、このメカニズムの究明に取り組んできました。

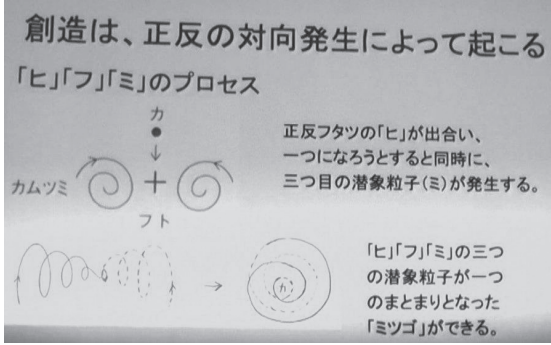
本来、誰でも備わっていると思われる潜在的感性を蘇らせて、能力開発法的一端を披露、実践、併せてインチキ能力者に騙されたいための心得についてお話したいと思っています。



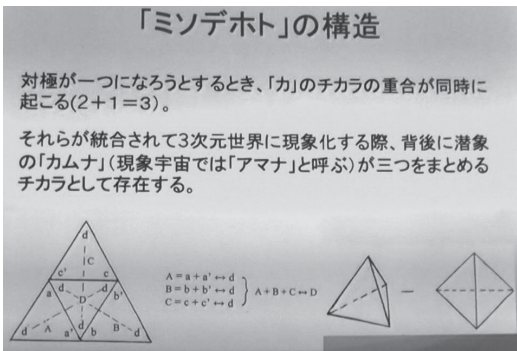
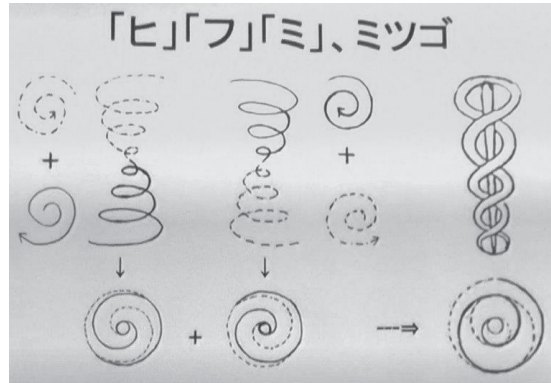
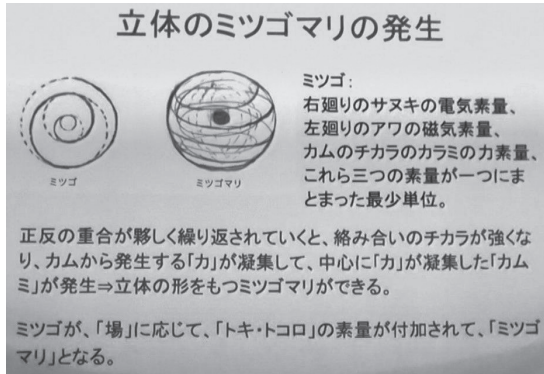
令和2年2月本部例会報告Ⅱ

「カタカムナ潜象物理」を基にした生命創造の基礎構造(仮説)による意識体ゼロ化を可能にするヒーリングメソッド

講師 アマナ(呉清恵)氏



創造というのは正反の対向発生によって起こると考えられるのが、カタカムナの潜象物理です。正反というのは、潜象世界の一番細かい粒子が右廻りか左廻りに廻っている状態です。正反二つの粒子「ヒ」が出合って一つになるとするときに、「カ」の力が付与されて三つ目の粒子「ミ」が瞬時に発生する。これが「フト」という意味です。そして「ヒ」「フ」「ミ」の三つの潜象粒子が一つにまとまりとなった「ミツゴ」ができます。



これが最小単位です。こういうことを繰り返していくと、中心に「カ」が凝集した「カムミ」が発生します。そして立体の形をもつ「ミツゴマリ」ができます。それが統合されて三次元世界に現象化する際、正三角四面体となります。その背後に潜象の「カムナ」が三つをまとめる力として存在します。

「ミソデホト」は生命創造の基礎構造
三つの潜象粒子の親和重合によって、「カ」が凝集されて、内部

に潜象核(カムナ)を形成し、それが背後の不可視の核として存在し、三つの潜象粒子が一つにまとまって、1単位になるのを保持する構造が「三プラス」です。

「三プラス」の「一」は潜象核(アマナ)、物資レベルでは潜象核は「アマナ」と呼ばれます。異なるレベルでも相似の構造によって同じ物理が働きます。「三プラス」の構造は、生命の構造、万物万象の創造の原理となります。

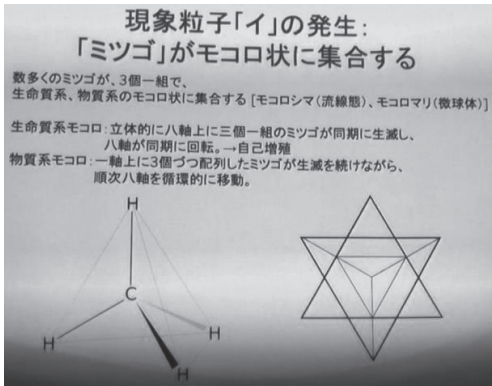
生命発生の根本原理「フトマニ」

二つの「ミ」(正反の「ミ」)の重合(ト)によって、新しい生命の現象界(マ)に発生定着(ニ)されるというのが、カタカムナの対向発生の根本原理であります。

イノチが生まれ、刻々とイノチが維持されているのは、正反の対向発生の持続(フトマニ)によって、カムとアマとの重合による「カ」の対向発生が起こるからです。

この原理は潜象レベルのことだけでなく、宇宙のイノチのすべてについての物理として、カタカムナ人が感受し抽象した根本原理です。

生命の誕生についてだけでなく、生命活動、人間の精神活動や人との関係、その他様々なレベルで相似象をみることが出来ます。どんなものでも、対極が一つになって新しいものが生まれる際には、必ずフト(互換重合)によるカムのチカラの対向発生が起こっています。この「フト」の対向発生の原理を瞑想に応用することで、内なる根源へのアクセスがより簡単になります。



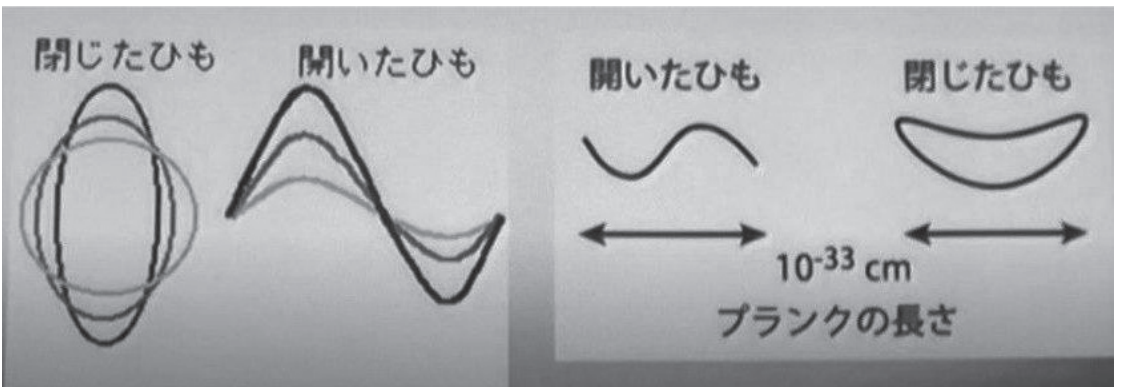
原子核から粒子が出るときに、「ミツゴ」が図のようなモコロ状に集合します。



参考・量子物理学の超弦理論

超弦理論では、宇宙の極小物は輪ゴムのようなもので、その大きさは10のマイナス33乗cmほどで、それ以上に小さいものは存在しません。この大きさはより小さくすると、揺らぎの幅が無限大になり、時空間に存在できなくなります。即ち、これが時間と空間が存在できなくなる限界値と考えられるわけですね。

原子の大きさは1億分の1cmくらい、原子核の大きさはまたその10万分の1くらいとなります。また量子世界の2つの性質として、「非局在性」と「観測者効果」が有名ですが、どちらも不思議な性質です。



量子世界の2つの性質

- 非局在性 (non-locality):
電子のような量子的な実体は、離れたところにある別の量子に対して、それがどれだけ離れていても、力やエネルギーの交換なしに影響を与える。グルーオンが伝えるクォークの間の力は、それらの距離が離れても弱くならない
- 観測者効果 (observer effect):
量子は、観測という行為によって初めて、一定の状態の粒子になる。観測者の意識こそが、観測された物体を存在させる。「観る」ことによる。⇒ミルとは？

特に「観測者効果」についてお話ししたいと思います。

「ミル」とは

「ミ」とは本来「ミツゴ」を意味しており、モノが潜象・現象の界面から生まれて持続的に現れるという思念であり、「ル」というのは、その状態がそこに存在している、留まっているという思念となります。

観測者の意識が時空を固定する

「最初の観測者」は時間を逆行してもモノに影響を及ぼすことができるが、一旦人や動物が観測によって影響を与えたら、その後は、別の影響を与えようとしても反応しにくい。(拙著 pp. 228-231)

「ヒフミ」の量子世界：無電荷の粒子がアマに遍満している状態
⇒人間の観測という行為によって、量子に影響を与えて、トキを確定。
⇒トキの粒子が発生する地点がトコロ

⇒「ミツゴ」と「トキトコロ」が重合して、電気粒子の「イ」が現象世界に入る。それが3次元世界の時間の始まりになる。

⇒トキトコロの確定後は、変遷して「ヤ」(極限)まで進行。

「ミル」とは？

ミ：本来、「ミツゴ」を意味する
モノが潜象・現象の界面から
生まれて持続的にあらわれるという思念



ル：「リ」によって「ワ」から離れて、「ヒ」「ア」「カ」の潜象と、「イ」「シ」の現象とが、正反に存在する
⇒その状態がそこに存在している、とどまっているという思念

ミル：「ミツゴ」の「ミ」が
潜象から現象に現れて、
とどまるという思念



あるものに意識を向けると その世界を広げる

- この宇宙には、すべての周波数の粒子が波動をもって遍在している(カムツミの状態)
- 現象世界は、私たちの「意識を向ける」という行為によって、私たちの目の前に立ち現れてくる。(繰り返しによって)
- 私たちの意識が、向いている世界を押し広げる。意識を向けると、意識を向けた対象の空間が開いて行く。
- 私たちの目の前には、見えるモノの数だけのトキトコロノマ(時空間)が重なっている。そして、ひとつひとつの物の空間を、わたしという意識が観察している。その際、わたしという意識には集合意識の影響がある。

観測者の意識が時空を固定する

最初の観測者は時間を逆行してもモノに影響を及ぼすことができますが、一旦人や動物が観測によって影響を与えたら、その後は別の影響を与えようとしても反応しにくいことになります。それは、人間の観測という行為によって、量子に影響を与えてトキを確定することになるのです。

第四六二回関西日本サイ
科学会研究集会報告

マイナスの「気」エネルギーを
防御するには

講師 橋本 和哉氏

(医師、医療法人春鳳会はしもと
内科外科クリニック院長)

日時 令和3年11月13日(土)
会場 阿倍野学習センター講堂

講演に先立って関西日本サイ科学会が購入した脳波計(アルファテック5)による脳波計測のデモを行いました。(電極を額に当てた被験者の脳波をパソコンからスクリーンに和田会長が映し出します。)被験者には目を閉じて貰い、脳波が安定した段階で私(橋本和哉)が気エネルギーを被験者に「気入れ」して脳波がどう変わるか実験したのです。

脳波はリラックス系の α 波や θ 波が増え、被験者がリラックスした状態にあることを示したのは「気入れ」の効果と推察されます。

脳波測定を終え、いよいよ講座開始。

さて、『マイナスの「気」エネルギー』とは心身に良くない影響を及ぼす気エネルギーのことです。マイナスの気エネルギーを防御するにはこれさえやればOKというものではありません。

マイナスの気エネルギーは多様で多様です。例えばマイナス気エネルギーに電磁波や生霊の気エネルギーがあります、それぞれの影響を防御する方法は異なります。つまり、マイナス気エネルギーの種類によってその防御法も異なるのです。

まず生体エネルギーを低下させるエネルギーに対してですが。

毎日でもやって来るモノとして、生霊（人からの念）、瘴気、感情蓄積。身体に居るモノとして細菌、ウイルス、真菌（カビ）。外から入る有害物質として電磁波、シックハウス（ホルムアルデヒドなど）、瘴気、排水管からのマイナスエネルギー。憑依体として死霊、魔物（妖怪、魔神など）、宇宙霊、動物霊、さらにそれぞれ

の憑依体からやって来る「意識」や「トラウマ」があります。「トラウマ」には今世のトラウマ、過去世のトラウマなどがあります。

マイナスの気エネルギーなど見えない世界の現象をチェックする方法として、ダウジング、オリングテスト、「気当て」診断などがあります。気の感知法と気当て実習をいつもクリニックで実習指導している金子さんにやって貰いました。ちなみに「気当て診断」は私が考案した「気」のチェック法です。対象物に、チェックしようとする「気」エネルギーがある場合は共鳴して跳ね返り、無い場合は共鳴なく跳ね返りません。そうした「気」の反応により、「有る」「無し」をチェックします。

今回は和田会長にダウジングチェックをして頂き、私（橋本和哉）が気当てチェックするというダブルチェックでのぞみました。

次に、「どの程度防御できているのか」といった実習のため、防御グッズを付けておられる人に出て来て貰いました。最初、身に着けている腕輪により「どの程度、防御できているか」をチェックし

ました。その結果、腕輪をしていない側（半身）は防御できていたが反対側はそうでないことが分かりました。

首飾りと腕輪を付けておられた別の被験者は、かなり濃密に防御できていることが分かりました。マイナス気エネルギー防御のため、防御グッズを手首や首に指輪やネックレスとして付けておられることも多いですが、それにより「どの程度の範囲で防御出来ているのか」をチェックする必要性についても解説しました。

さらに、それぞれの気エネルギーグッズがどのような気エネルギーをブロックするのかについて実験しました。人から受ける念を指標に、ある腕輪をして貰いましたが、人からの念は全く消えませんでした。つまりその腕輪は、エネルギーはあるけれど人からの念を消す効果は無かったということになります。身に着けている防御グッズが「何をプロテクトするか」といったチェックも大切であることを示したわけです。

さて、防御グッズですが、これ

をどのように選ぶのか。そのポイントとしては「何を防御したいか」を決めてから選ぶ事が大切です。つよいエネルギーがあり、もし防御できる物だと判定されても何%の防御なのかをチェックしなければなりません。100%の防御でない場合、例えば60%と判定されたら60%防御できるのではなく、40%は別の物を追加しないと効果が出ないことを意味します。それは2階までの階段を、60%のところまでは上がれても、2階まで届かないのと同じです。

「気」エネルギーグッズを使っていると、あるいは使っている人や周囲の空間から「マイナス気エネルギー」を受けてそれが中に蓄積することがあります。そうした蓄積した「マイナスの気エネルギー」に対処するため、私は「アトランティスピラミッド」にグッズを乗せています。「水晶クラスター」も効果ありますが、水晶クラスターの気エネルギーは生体には殺気として働くので人の居ない所で使うことが求められます。

防御グッズとしては、わたしの

クリニックで販売しているものもあります。人からの念を消すスプレー、オイル。瘴気を消すスプレー、オイル。蓄積した感情を消すオイル。口腔や鼻粘膜、気道の菌やウイルスを減らすアロマ口喉ケア などですが、デモとして、参加者の方にそれぞれのグッズを使ってみました。が秒単位で即効して改善感があつたようです。死霊を防御するアイヌ帯、魔物を追いやる護符、邪気を追うホログラムメッキテープ、死霊を癒し身体から出す漢方薬や塗香、なども紹介しました。

「アーシャ曼荼羅カード」(点描曼荼羅図のカード)を使った実習では、先ずは参加した福田さん(アーシャはニックネーム)に曼荼羅を描くようになった経緯を簡単に解説していただきました。絵心が全くなかったアーシャさんは、お父さんが亡くなってから急に訳も分からずに点描曼荼羅を描くようになったそうです。私の「気当てチェック」では、北斗七星のアルカイド星からのエネルギーを受けていて、曼荼羅カードの下20cmくらいの所で神仏が表出させています。デモのため、参加者

で体調が良くない人に名前を紙に書いて貰ってセットすると、20秒程度で症状が改善したようです。

真菰(まこも)粉を用いた実習では、これを紹介してくれた田口さんから「真菰粉」の説明をしていただきました。発酵させた真菰粉からは神界にまでスッと「気」エネルギーが伸びています。実習では、なにか症状のある人の手や手首に真菰粉を塗って貰い、さらに未だ不足と思われる経穴(ツボ)にも塗って貰いましたが、まもなく症状が改善したとのことでした。「気」エネルギーは、神仏との交流もあるようです。唐突ですが、神仏をお呼びしたら秒単位で降りて来られたこともお伝えします。

ところで、「シューマン波」共振回路は「7.83Hz」の周波数(電離層の波長)を出す回路です。実習では、デモ参加者の名前を紙に書いて貰って回路の上にのせました。シューマン周波数では特に変化した感じは無いとの感想でした。おそらく「シューマン波」は地球の外から既に届いているからだと思われまます。次は別の周波数にして

実験しました。シューマン波共振回路の抵抗を爪で少し動かすと抵抗値を変えて出す周波数を変えることができませんが、被験者は十秒程度でワクワクしてきたと感想を述べられました。抵抗値を変えてウキウキする周波数が出るように調整していたので、効果はあつたと推察されます。

仏様を呼ぶといわれる「マニ」リングを用いる実習もしました。マニ車はそれを回すことで仏様への帰依効果が出ると言われますが、仏様を呼ぶ効果のある「マニ」リングは小さな指輪状のマニ車を指にはめて動かします。天空までスッと「気」エネルギーが伸びている物だけが効果があるので店先でそれをチェックして選ぶ必要があります。さらに「マニ」リングでは、如来、菩薩、明王、天部などの仏様を呼ぶ力があるか知っておく必要があります。それを知った上で、さらにどの指にはめるかまできっちり指定しておく必要があります。そうした状態でキチンとどの指にはめるか「気当て」して決め、呼びたい仏様を念じると秒単位で降りてきてくださいます

たが、これはデモ者にも体感していただきました。電磁波防御のためのシールや服、紙で編んだ死霊を防御する中連縄についてもお伝えしましたが、時間が限られており、以後、質疑応答となりました。「名前を書いた紙で効果出たのは何故か」との質問には、私もよく分からないけれど「呪術ではよく行う方法」と答えました。「家族に防御グッズを使ってもよいか」という質問には「構わない」とお伝えしました。

実験、実習をふまえた講演会になりましたが、参加者の目の前で実習、短時間で症状が消えた人も多数おり、楽しく学んでいただけたかと思えます。(講師記)

◆ ◆
サイの広場第1号(1983年6月発行)アーカイブ

1983年の創刊号から2004年第28号まで発行されました会員の自由投稿誌「サイの広場」はその後論文集「サイ科学」に吸収されました。

それらの記事の中で貴重であ

り、興味深い内容のものもありますので、「サイジャナル」にスペースがあるときに、順次ご紹介させていただきます。

今回は日本サイ科学会の前身の日本P S学会の初期から役員をされていた藤倉啓次郎氏の1981年のインド旅行記を紹介致します。藤倉氏は御著書も何冊かあります。

藤倉啓次郎氏は当時でもなかなか会うことの難しいクンダリニー・ヨーガの覚者ゴーピ・クリシュナ師(Gopi Krishna、1903-1984)にお会いするまでの経緯と、ゴーピ・クリシュナ師に質問をして得たお答えまで、2、3回に分けて転載致します。

印度旅行のみやげ話

藤倉 啓次郎

はじめに

昨年の秋に印度国立教育研究所のアニールヴィジャランカール博士から印度に来るようにとの勧誘の手紙をいただいたので、それに

応じることにした。私の考えはアニール先生とパンデイット・ゴーピ・クリシュナ師から教えを受けることであつたが、同志に話したところゴーピ師を日本に招待しようという話が出た。そこへアニール先生から、その帰り途に日本へ寄つて貰つたらとの手紙も寄せられたので、それでは是非ゴーピ師に訪日をお願いしようということになり、私はその役目を負わされることになった。

因みにパンデイット・ゴーピ・クリシュナ師とはクンダリニー・ヨーガで世界的に知られた印度に現存の行者であり覚者である。パンデイットは尊称である。

こういう次第で、私は去る二月十七日から三月三日まで、印度に旅をしたので、ここにそのお土産話をしようと思う。

二月十七日は東京では雪。その朝家を出て正午すぎ成田からの飛行機に乗った。途中バンコックで約一時間停留したが、ここでの温度は三〇度を越す暑さであつた。

ニューデリーには午後十時すぎに到着したが、ここでの温度は一〇度そこそこ。一日の間に大いに身を温めたりさましたりという

有様であつた。

ニューデリー空港にはアニール先生が息子さんと一緒に車で出迎えてくれた。直ちにホテルに行つて二七時間半という長い一日を終りにした。

ニューデリーで、神の導きか

翌朝アニール先生は私のホテルへ来られて私に瞑想の指導をしてくれた。これはその後も続いて行なわれた。またここで私の今後の予定についても相談してくれた。

二月二十日日曜日の午後私はニューデリーの国立博物館を訪れた。二年前にも行ったのだがもう一度見て印象を強めたいと思つたのだ。ここには古代から近代に至る各方面に亘る展示物がある。一階にはヒンドゥ教や仏教に関する彫刻やブロンズ像等が大小様々なものが多数展示されている。

私はこれ等の展示物を順次に見ていくうちに、二〇〜三〇種の小さなブロンズ像を収納した陳列棚の前に出た。それは丁度大きな本箱を二つ背中合に並べた様な格好で、各々十数個の仏像を納めてある。一つの箱にはナーランダ、他の箱にはチベットという札がつい

ているから、前者は昔のナーランダ寺院跡からの出土品であろうし、後者はチベットからの到来品であろう。

そのナーランダ棚の仏像で「Präja-Paramita」(般若波羅蜜多)九世紀という札をつけたものは、磁石のように私の目を引き寄せたのである。しばらくして、反対側のチベット棚の中を見ると、ここにも同じ名称で十三世紀という札のついた仏像がある。私はこれ等二つの仏像を見て欣喜雀躍の感を抑え難かつた。

ご存知の読者もあろうか、私は昨年「般若心経を解く」という本を書き、また本誌にも般若心経について書いたことがある。その中で般若心経の最後にある呪文「羯諦羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶」という言葉は般若波羅蜜多の神が説き授けたのだと書いている。

そういう神の根拠は何かとなると、他の文献によるものだが多少弱みもあつた。しかしこの印度国立博物館にある仏像は般若波羅蜜多神の存在を示す有力な根拠である。私はこの仏像の写真をとった後、博物館員にこの仏像に関する

資料について尋ねたが残念乍ら見当らなかつた。

その夜私はアニール先生のお宅に、若い日本人女性と共に招待されて、先生のご家族など約一〇名で歓談したのだが、私は般若波羅蜜多像の発見について紹介し、皆さんからも祝福されて楽しい一夜であった。

翌日私はデーラドゥンに行き、そこに数日間滞在してニューデリーに戻ったのだが、何とかして般若波羅蜜多の神の故事来歴を知りたくて、街の本屋を尋ねたところたった一冊バッタチャリヤ著「仏教聖像の研究」(英文)という本があったのですぐにそれを買求めた。

この本には仏像の写真が四二点載っているがそのうち九点が般若波羅蜜多の像である。また本文の説明文においても、女神般若波羅蜜多(Goddess Prajna Paramita)は仏教パントオンにおいて重要な位置を占めているとして、四〇頁に亘ってこの女神の由来とその仏教について解説している。

その由来を一寸紹介しよう。般若波羅蜜多について詳しく述べた般若経(これは略称)というお経がある。このお経は紀元の初め頃

出来たと見られているが、実は釈尊が直接説いた。

しかし釈尊は人類がもつと目覚めるまで竜神に預けていたものを、ナーガルジュナ(竜樹菩薩)が人類に取戻したという伝説があるらしい。般若波羅蜜多はそのように尊いのでこれ女神と崇めるようになったという。その外にも理由はあるがここではそれは省略する。

私は右のようにこの本によって般若波羅蜜多女神の詳細を知って驚きと喜びを倍加したのであるが、一方日本ではこの女神について殆んど知られていないのはなぜだろうかと思議に思うのだ。もっとも日本でも密教の胎藏界マンダラには般若菩薩として一席占めてはいるが、それについても殆んど語られてはいないのであるまいか。右のように私が般若波羅蜜多の仏像にお目にかかったり、書物を入力したことについてある人はそれは神の導きによるのだろうかといわれた。

この頃は般若心経を誦む人も多くなったのだろうか、般若心経に関する書物も異常なほど出版されている。しかし般若波羅蜜多を神或は菩薩と見ているのは殆んどな

い。例外的に大阪大学の佐保田鶴治博士や英国の仏教学者コンゼ博士はこれを固有名詞即ち神又は菩薩と見ておられる。

般若心経を誦まれる方々があの呪文が般若波羅蜜多の神から授かったことを認識し尊崇してその恵みを受けられるよう私は切望して止まない。

デーラ・ドゥンにゴーピ・クリシュナ師を訪ねる

デーラ・ドゥンはニューデリーの北方約二五〇料にある町である。

かねてゴーピ師の話ではここは一年を通じて気候温暖で住みよいところだから、ここに道場をつくることにしたとのこと。ニューデリーからは飛行機も自動車もバスもあるとのこと知らせて受けていたが、ニューデリー到着後、念のためアニール先生を通じてご都合を伺ったところ、大いに歓迎するとのこと返事をいただいたので、二月二十一日に行くことになった。

当日は朝飛行機で行く予定であったが、旅行会社のミスで私が空港についた時は既に飛行機が発売した後だった。止むを得ずバスで

行った。目的地まで六時間かかったが振動もまたすばらしく相当な運動になった。

デーラドゥンに近づくとかなり広い森林地がある。日本なら別荘地にされるかも知れないような処。この町は遠方の山に囲まれ、緑も多く印度では風光明媚の地といえるだろう。

ゴーピ師の家は町のバスターミナルからオート力車に乗って約二〇分の郊外にある。師の家に到着したのは午後七時頃で暗くもあり寒くもなっていた。面識ある女性が見われて挨拶後、今日は遅いから先生はお会いしない明朝十時半に来るようにとの話である。

私はこの土地には不案内だからホテルだけでも紹介して貰いたいと頼んだところ、修行中のカナダの青年が現われて自分が案内するといつて、私の待たしておいた力車と一緒に乗り町のホテルまで行った。その前に寒いからといって長いレインコートを私に貸してくれた。この青年は私をホテルまで案内したらさよならをいうのかと思つたらちがった。彼は私の乗ったオート力車の代金を値切つてくれる、ホテルに対して上等の部屋

を注文しおまけにその部屋代を割引させる、次には夕食のアドバイザー等をする外、食事中も一緒にいて何くれと世話してくれた。その親切ぶりには全く驚いたのだが、これはゴープ師の教えの結果であろうとあとで私は思った。

翌朝十時半に師の家に行った。中年の女性が迎えてくれた。彼女はマーガレットというスイスの婦人であった。間もなくゴープ師も笑顔で現われ握手で迎えてくれた。それから約一時間私は下手な英語で訪問の理由やらニューデリーの仏像の話などをした。マーガレット女史は時々通訳的な役割もしてくれた。また私は、われわれ同志から師への訪日招待状を提出して師の日本訪問をお願いした。

師はこれに対して「Will try」と答えられた。この言葉はかなり広い意味があつて来る来ないが明らかではない。しかし後ほど日本の十月の気候はどうかと尋ねられたので、それは「最良の季節である」と答えたので師のお考えもいささかこちらへ傾いた感じであった。日本へ帰ってから秘書から手紙に「He will try at mast」と書

いてあつたから、大分訪日の可能性も高くなつたと思う。

次の日二月二十三日にもやはり朝十時半に師を訪ねた。私は四項目の質問を紙に書いて提出した。師はそれを見て約一分後に回答を始めたが、一時間近くも全く停滞することなく、水の流れる如く答えられたのに驚いた。

師の話によると悟りを開くと、知ろうとする物事が一ぺんに分るのだという。例えば、数学の勉強は算術、代数、幾何、微分、積分というように進むのが普通だが、悟りの状態ではこれが一度に修得できるという。私の突然の四項目質問に対する回答も一ぺんに出来たのもそういう超能力の致す所だろうと思つた。

私の質問と師の回答については本文の後部で紹介する。大体は師の悟りの体験を説明している。師は悟りの内容は言葉では表現し難いのだと言いながらも師の説明はわれわれ凡人にも理解できるのであるまいか。

仏教では本当に悟りを開くと六神通力が得られるという。ゴープ師はどれ程の神通力をもっているか分らないが私の心の中など見透

されているような感じであつた。師は難病を遠隔治療する程の力をもっていることも私はあとで知つた。ホテルでこの町の人から彼は神であるという言葉も聞いた。

この日私はマーガレット女史に師から瞑想の実地指導を受けたいがと話した処、女史は私たちはここで没我の精神で奉仕しているのですよとの回答で、私はお前の希望は我儘ではないかと暗に云われた感じで恥入つた次第である。この人達の親切さもこの没我精神かと思ひ、この実地教訓と今日の師の教えだけでも私にとつては充分すぎるように思ひ、このゴープ師にも今日限りにし、明日はニューデリーへ戻ろうかとの考えもふと浮んだ。次の瞬間女史は「明日は米国からキーファー氏が来るから、師を囲んで一緒に話されたら。」といったので私は救われた感じがした。

キーファー氏というのは米国でゴープ師の書物を出版し、それを私にも贈ってくれたので私もいささか彼との文通もあつたのだ。

翌二月二十四日も朝十時半に出頭したところ、ゴープ師と一緒に

瞑想をしようと云われ短時間だったが、共に瞑想を行った。有難いことではあつたが私は本当に心中を見抜かれている思いであつた。

このあとキーファー氏が現われて、私は彼に初対面の挨拶をしたが、彼はここへ来る前に東京へも寄り私の家に電話をした処、娘が出て「父は印度に行っている。」との返事だつたという。全く予想もしない奇遇であつた。この人はゴープ師がこの夏欧州から米国を廻つて日本に来られる際に、師の旅程について私たちに連絡しなければならぬ人なのである。ここに遇うことができたのは単なる偶然でもないような気がした。

このあと私はゴープ師にお願いして昨日のお話を短縮して録音をし直しをした。というのは昨日私は録音器の作動を誤つたからである。師は喜んで応じてくれた。

次の日二月二十五日は午後三時半にゴープ師の許に集つた。何か要望はないかというので私は、「私は日本にいる私の友人達に世界の将来についてのメッセージを、いだけただいただけだ。」とお願ひしたところ、心よく応じて十五分間ほどテープに吹込んで下さつた。

命を育む母体であり、特に水と「サイ・気」は相性が良い。例えば、マクロな視点で水に例を取ると、水は水蒸気、雲、雨、川、海となり、地球の全体にわたって循環し、生命力を養い、その過程で様々な物質を溶かし込んでいます。この中には「気・意識」も含まれることに成ります。ここでは、問題を限定して水、植物、太陽に関連してパワー・スポットを選び、意識体形成の主体としての「気・意識」を造ることにしたい。

4) 集積を目的にした機器

空間に存在する「サイ・気」を、パワー・スポットに集積し、希望した「気・意識」を増幅して、放射する機器の試作が進行しております。「サイ・気」は近赤外線領域に存在しているので、非可視である。体外に集積した「サイ・気」は、この機器に上載せられて、試作装置に運ばれて実用化を助けることになる。

(1) 人工外気制御装置

以上は、自家用として、自分に合った人工

外気制御機器を造る為の計画であるが、さらには検討を進めて、将来には全体を人工的に運営する装置の開発を計画している。

(2) 倫理規定について

実用化を目的にしておりますが、因果応報が実現する意識・情報・社会の世界でありますので、倫理規定の設定が必要になると思います。

〈1〉意識し、願う、祈る、の想いや行為は、必ずしつぺ返しとなって、本人にも届きます。特に生存している人の「想い、願い、祈り」等、「生霊」に留意すべきでしょう。これらの結果はストレス、体調不良、病気等として現れてきます。

〈2〉対策としては人を嫉まない、憎まない。相手が悪いと判断しても、自ら、心から詫びて、反省と感謝の想い、願い、祈り、をする。つまり、感謝の念を送るとよい。

ご指導頂いた品川次郎先生に御礼申し上げます。

このあと、師とキーファー氏との問答があつてこの日の会合は終つた。

私はゴープ師とその側近たち、それからキーファー氏に別れを告げ、去り難い思いで去つた。邸から一〇〇米ほどの大通りに出るまで皆んなが見送つてくれた姿が今でも目に浮ぶ。

デーラ、ダウンという町はニューデリーとヒマラヤの中間にある中都市である。四方は山や川に囲まれ小緑も多く、気候は一年を通じて比較的温暖であるという。そんな環境なのでこの頃はヒマラヤ山中からその町に移つてヨーガ道場を開くヨーギが多いという。私の目にとまつた道場だけでも五カ所もある。

この町には五日間滞在した。ホテルはよい方だと思つたが二〇平米余りの部屋代が一五〇〇円余り。但し設備面は快適とは云えない。

二月二十六日朝早くバスで四〇分間ゆられながら飛行場に行き、そこから双発の五〇人乗位の飛行機でニューデリーに飛んだ。途中機内から白雪のヒマラヤ連峰がよく見えた。

南印度へ

三月三日私はニューデリー南方二二〇〇軒余りのハイデラバッドを訪れた。

印度第五の大都市である。古い回教徒の町で、町には多数の回教的建物がある。町から一〇軒ほど離れた処に数百年前のゴルゴンド城の廢墟がある。日光の鳴竜と同様拍手すると天井で音響を發する建物がある。

町からここに來る途中、昔の王達の立派な回教建物式墓が数ヶ所に見られた。墓の莊嚴さが死者のあの世の幸福を保証する訳でもないだろうが、むしろつわ者どもの夢のあとの感を起こさせる。

この町の博物館は見る価値があるらしいので訪ねたところ、生憎と金曜日で回教方式で休館だったのは残念だった。

この町には一泊したがホテルの名はナーガルジュナという。この名は仏教の中論哲学を説き、大乘仏教八宗の祖とも称され、また般若波羅蜜多とも縁深い偉大なる仏教僧・竜樹菩薩の印度原名である。

(続く)



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

意識・物質の実用研究会について

栗田 慶祐

1) はじめに

福来友吉先生は、1910年に、「透視と念写」を発見致しました。そして、「念」は願いを持ったエネルギーで、時間や空間を超えて、宇宙全体にひろく充満していると説明致しました。英国のロジャー・ベンローズは、(2020)のノーベル賞(物理学)を受賞致しました。そして、宇宙空間は量子力学で、表示することが出来、「意識」は重力と類似である、と解説いたしました。佐々木茂美、佐藤禎花は、2018年に、体外の空間に造った三日月型の念写像の解析から、その原因として、「陰陽サイ spin 対【光子群】」を発見致しました。

検討してみると、以上の「念」、「意識」、「陰陽サイ spin 対【光子群】」は、ほぼ同一内容であると思われます。そこで、これ等を統合して、新たに「気・意識」と呼び変えることに致します。本会では、「気・意識」の実用化研究を進める事に致します。

2) 研究会の経過報告

(1) 夜の屋外の空間に霧吹きでキリ(水滴)を造り、之が消えた後に「真オーブ」を形成・出現させます。これによりオーブ(意識体)の出現率を、1/150から1/3まで上昇することが出来ました(つまり再現性が実現した)。

(2) 脳波を下げて、変性意識状態(ASC)付近になり、目隠しをして、物を見る練習を継続します。すると、無意識層から「気・サイ」が放出されて、体外に意識体が形成されます。つまり、真オーブの上に「気・意識」の活動の拠点(依り代)ができた事に成ります。

(3) 意識体において、「気・意識」が(物

質変化を助ける形で)、実用化を進める事を計画しております。

施行の結果を見ると今のところ、「気・意識」が、物質変化を(+30%)~(-30%)助ける、という結果がえられております。つまり、(+30%)から(-30%)の「サイ・気」入りの(例えば):食品、飲用水等が可能である、という事になります。

次に、具体例を示します。

3) 集積場所(パワー・スポット)の設定

超能力者の「透視」等によって体外の空間に意識体を形成する場合には、「気・意識」が集積している(密度が濃い)場所は、超能力者の周辺の空間に限定されております。しかし、通常人の場合には、「サイ、気」が集積する場所(例)(パワー・スポット)を造る事が要求されます。どのような場所(位置、環境)に「サイ・気」を集めるか、どのような「サイ・気」を集積させるかが問題となります。

「サイ・気」には陰性と陽性がありますが、今は、『陽性のサイ』のみを問題にすることにします。

信仰対象である神社・仏閣等は当然陽性ですが、様々な内容の「サイ・気」を含んでいるので、希望する内容の「サイ・気」のみを選択します。ここでは『陽性のサイ』で、使用目的が明白な場合(個人)に限定して、検討する事に成ります。

人間等の生命体を育む太陽、水、植物などと地球上にある生命体との関係をよりよくする問題に限定します。太陽と水は地球上の生